石口 智志（いしぐち さとし）
水曜会（50分）

学校給食は

問 ①原油価格の高騰などで食品の値上がりが続いている。本市の給食会計も厳しい状況と推測するが、現状と対策は。
②文部科学省は令和元年7月に、学校給食費徴収・管理に関するガイドラインを策定し、全国の地方公共団体に対し給食※費の公会計化を推進するよう通知しているが、本市の考えは。

答 ①栄養価を考慮しつつ安価な食材に変更し、献立を工夫している。食材費の支払いは、保護者から徴収する給食費のみでは賄えない状況が続いており、福山市学校給食会の予備費を取り崩して対応している。今後は、国の交付金を活用するなど、安心・安全でおいしい給食の提供に努める。
②今年3月に策定した第三次教育振興基本計画に基づき、学籍、出席簿、成績、会計等の事務を一括管理するシステムの導入準備を進める中で、公会計化も検討していく。

福山市の学校給食

喜田 紘平（きだ こうへい）
水曜会（55分）

スケートボードに対する本市の在り方は

問 ①一部のスケートボーダーによるまちなかでの器物破損行為や迷惑行為が問題となっているが、対策は。
②マナー意識向上への取り組みは。
③遊休地等を活用し使用が許される場所を増やすことも必要と感じるが、考えは。

答 ①公園や交通量の多い道路での使用を禁止している。迷惑行為等を防ぐため施設内への禁止看板の設置や警備員の見回り、警察と合同での巡回や指導も行っている。今後も関係機関と連携し、対策に取り組む。
②昨年度、小学生を主な対象に教室を実施しマナー啓発を行った。今後、実施回数の増や対象者の拡大等で意識の向上に努める。
③市内には気兼ねなくスケートボードができる環境が少ないため、今年度、芦田川かわまち広場に初級者用の施設を増設することにした。さらなる増設の必要性も検討する。

芦田川のスケートボードパーク

石田 実（いしだ みのる）
水曜会（55分）

農業用ため池の安全対策は

問 ①防災工事などの状況は。
②農業用水として利用のないため池の今後の考え方は。

答 ①※ため池工事特措法に基づき、県が実施した劣化診断や豪雨診断の結果、防災工事が必要となったため池は、特措法の期限である2030年度末までの事業着手を目標に取り組む。この防災工事は、県と連携して本年5月末時点で廃止14カ所、耐震化2カ所、改修14カ所、合計30カ所を完了した。今年度は廃止21カ所、耐震化3カ所、改修14カ所、合計38カ所の設計と工事を予定している。引き続き、関係者と調整しながら計画的に進める。
②管理が不十分なまま放置され、安全性が低下するおそれがある。まずは管理者不明の防災重点ため池142カ所の廃止工事を進める。工事完了までは本市で低水位管理やパトロールを実施し、安全対策に取り組む。

耐震化工事を行うため池

※給食費の公会計化：給食費を、学校などの会計（私会計）で管理するのではなく、地方公共団体の会計に組み入れること
※ため池工事特措法：防災重点農業用ため池に係る防災工事などを集中的かつ計画的に推進することを目的として制定された「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」